



令和4年4月27日
海上保安庁

海賊対策のため巡視船みずほを派遣します

～我が国の海上交通路の安全確保に向けて～

海上保安庁は、東南アジア周辺海域における海賊対策のため、令和4年5月11日から約1か月間、巡視船「みずほ」をインドネシア周辺海域に派遣し、公海上でのしゅう戒を実施します。派遣中には、フィリピン及びインドネシアとの三国合同油防除訓練を実施し、連携・協力関係の強化を図ることとしております。これらの取組を通じて、**インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化**に貢献します。

海上保安庁では、海賊対策として、平成12年から東南アジア周辺海域に巡視船を派遣しています。海賊をはじめとする脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を実現することは、地域の平和、安定を支える上で不可欠なものです。

インドネシア周辺海域を含めた東南アジア周辺海域では、昨年1年間に56件の海賊等事案が発生しており、コロナ禍にあっても同事案への対処の取組を沿岸国とともに継続していく必要があります。

1 派遣巡視船

第四管区海上保安本部 名古屋海上保安部所属
巡視船みずほ
(総トン数6,000トン、ヘリコプター2機搭載)



2 連携訓練等概要

(1) 日本関係船舶等との官民連携海賊対処訓練

日本近海において、当庁、運航会社及び民間船舶等における海賊発生情報の伝達経路を確認するとともに、日本関係船舶の海賊被害の防止及び迅速な救助体制の確立を目的として、連携訓練を実施予定。

(2) 日本・フィリピン・インドネシア三国合同油防除訓練(MARPOLEX2022)

インドネシア(マカッサル沖)において、フィリピン及びインドネシアの海上保安機関との協力関係促進及び油防除対応能力の向上を図るため、合同訓練を実施予定。

※MARPOLEX(Marine Pollution Exercise)

フィリピンとインドネシアは、二国間協定(スラウェシ海排出油対応ネットワーク計画)に基づき、1988年から2年毎に合同で排出油防除訓練を実施してきたところ、1993年の我が国への参加招請を受け、1995年以降、当庁からも大型巡視船及び幹部職員を派遣し参加している。

3 派遣日程

令和4年5月11日(水) 名古屋港出港/出港式典

5月中旬 日本関係船舶等との官民連携海賊対処訓練

5月下旬 日本・フィリピン・インドネシア三国合同油防除訓練

6月13日(月) 名古屋港入港

